



# NEWS

## 照明普及会だより

【第3回「全国小学生手作り  
スタンドコンテスト」入賞作品発表

【「あかりの日」街頭キャンペーン

【東京地区活動状況

【「あたらしい照明」写真展

【施設例紹介

・大館樹海ドーム

・倉敷チボリ公園

・東京湾アクアライン「海ほたる」

第30号

平成10年2月

### Contest

#### 第3回「全国小学生手作り スタンドコンテスト」 入賞作品発表

あかりの日の主要行事として定着した「小学生手作りスタンドコンテスト」。このコンテストは、次世代を担う小学生を対象に、楽しい工作を通じて照明への関心を高めること、電気に関する認識を養い照明教育の足掛かりとすることをねらいとして、日本電球工業会、日本照明器具工業会、日本電気協会、照明普及会の照明関係4団体で実施している。

第3回目の今回は、全国から1951通の参加希望があり、この中から抽選により700名の方にスタンド作りの「基本



#### 最優秀作品・特別賞4作品

写真中央最優秀賞

- 「夏の日の思い出」  
(東京・小学5年/蟻川晴香さん)

写真左より優秀賞

- 「エコロジー・エンピツ立てスタンド」  
(茨城・小学5年/古目谷 聡さん)
- 「かぐや姫」  
(岡山・小学5年/松本 友芳さん)

写真右より優秀賞

- 「未来の宇宙ステーション」  
(大阪・小学3年/清水 一希さん)
- 「鈴虫君」  
(東京・小学4年/大矢 敏弘さん)



#### 最優秀賞作品

麦わら帽子とりどりのネオンで飾ったスタンド。

スイッチを入れたとたんにキラキラと輝く宝石のような透通光が印象的な、少女らしい夢のある作品。

セット」を送付した。

この結果、夏休み明けに昨年を上回る288点の応募があった。

あかりの日委員会による一次審査(写真)で入選作品40点を選び、二次審査(実物)でこのなかから独創性・機能性・安全性を中心に評価を行い、最優秀賞1点、特別賞4点を選出した。入選作品は平成9年10月16日~22日まで

東京銀座のTEPCO銀座館で展示され4000人を超える来館者に楽しんでいただいた。

会場でのアンケートをみると、「あかりがこんなにも創造的なものとは考えていませんでした。」「小学生のアイデアとは思えないほど立派な作品、小学生らしい純粋な作品、どれも心が温まります。」など発想豊かな作品に対する驚きの声が多く寄せられた。

なお、優秀作品5点に対し、10月19日(日)同館で表彰式をおこなった。

## 第17回あかりの日 街頭キャンペーン

平成9年10月21日、当普及会を含む関係四団体で構成する「あかりの日委員会」メンバー約200人により、全国21カ所で街頭PRを展開し合計21,500個の電球配布や照明に関する資料を配布した。



(沖縄地区)



(中国地区)



(東海地区)



(関西地区)



(東北地区)

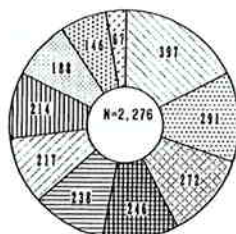
### 街頭PR時の アンケート結果(速報値)

当日、シリカ電球とともに配布したアンケート結果の一部を紹介します。詳細は現在「あかりの日委員会」において集約中で、間もなく全容の発表がありますのでご期待下さい。

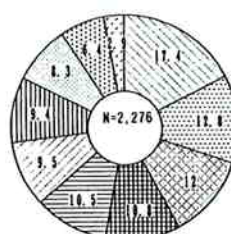
なお、総配布数21,500枚のうち、有効期限内に回収された2,276通について、各地区別の回答数・回答比率などは次のとおりです。お手伝い頂きました各電力会社・委員会スタッフの皆さまに御礼申し上げます。

地区別	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄	合計
地区別配布数	2,000	2,000	3,500	2,000	2,000	2,500	2,000	2,000	2,500	1,000	21,500枚
地区別回答数	188	217	397	272	146	291	214	238	246	67	2,276通
全国比率	8.3	9.5	17.4	12.0	6.4	12.8	9.4	10.5	10.8	2.9	100%

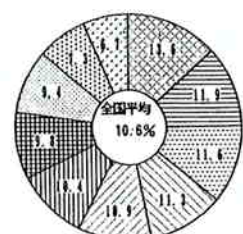
1.地区別回答数(通)



2.地区別全国比率(%)



3.地区別内回答率(%)



照明普及会だより・第30号(2)

## 東京地区活動状況

毎年好評を博している「照明フォーラム」が、平成9年7月3日に品川区立総合区民会館さゆりあん小ホールにおいて開催された。

### ○照明フォーラムとは

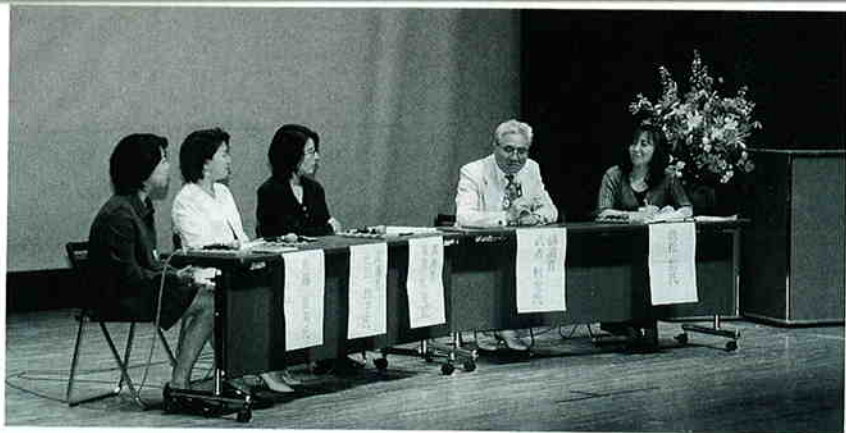
照明学会東京支部の活動のひとつで平成2年より開催され、今回で第8回を数える。特に将来を担う若いデザイナーをターゲットとして実務に有効な内容を織り込んでいること、また、インテリアデザインの分野に女性が進出する中で実務経験を積んだ女性が中心となって企画していることが特徴となっている。

毎回、あるテーマを設け、それにふさわしい講師の方の話を中心にフォーラムが進められている。これまでのテーマは、次のとおりである。

- 第1回 インテリアのライティングデザイン入門
- 第2回 住宅建築と照明デザイン
- 第3回 建築空間の色彩・テクスチャを生かす照明
- 第4回 ゆとり生活と照明
- 第5回 パリのあかり、京都のあかり
- 第6回 共生の照明デザイン
- 第7回 自然光との対話

### ○今回のテーマ

今回のテーマは「街あかり再考ーゆらぎにみる心地よさ」。案内用チラシに



◀ディスカッション風景

は、「華やかなライトアップやイルミネーションに彩られた夜の街を歩くことが多くなりました。でも家路につくとき、あなたの街の光景は、同じように魅力的ですか。街並や、駅、商店街の光に、ときめく光のたたずまいを感じますか。」とあり、この問いかけがテーマを表している。

具体的には、日本の屋外照明は大きく分けて、道路照明、防犯灯、商店街の街灯といった3つの考え方から成り立っているが、そこには、街並みのあかりとか、住民本位の照明といった視点が抜け落ちている。街全体でとらえたあかりの釣り合いや心地良いあかりという思想を持った、基本的プランが必要ではないかということである。

### ○今回の構成内容

2部で構成され、内容は次のとおりだった。

#### (第1部 講演)

まずはじめに、第一線で活躍されている2名の照明デザイナーに、それぞれ手がけられた実例を中心に「街のあかり」の今とこれからを語っていただいた。

- 近田玲子氏「インテリア化するエクステリア空間の光」

- 東宮洋美氏「LIGHTSCAPE光の景観」

次に、「ゆらぎ」を通して心地よさを追求している先生に、光についての新たな思想を話していただいた。

- 武者利光氏（脳機能研究所、脳ゆらぎ研究所代表取締役社長、東京工業大学名誉教授）「照明をゆらがせると」

### (第2部 パネルディスカッション)

第1部で講演いただいた先生方に、フォーラム企画委員会メンバーを2名加え、ディスカッションが行われた。

### ○今回の結果

今回行ったアンケートの結果を見ると、参加者の年齢層は20代（特に女性）が最も多く、職種としては設計デザイナー、学生が大半を占めていた。

内容に関しては、大半の方が参加して良かったとの感想を持っていただいたようだった。また、今回、企画委員が撮影した写真をロビーで展示するという試みを行ったが、「身近な照明をあらためて見ることができた」「寸評付きの生の情報が興味深い」などの意見があり、概ね好評だった。

なお、今年は「light healing心と体をいやす あかり」をテーマに6月16日さゆりあんにて開催する。

# Exhibition

## 「あたらしい照明」写真展

去る平成9年10月30日～11月11日、東京電力のPR施設「テブコ銀座館」に於いて、平成8年照明普及賞作品「あたらしい照明」写真展が開催された。この写真展は、平成8年照明普及賞を受賞した79点をパネルにて展示、紹介したもの。会場にはジャンル別に展示された施設のパネルに加え、ライトアップに使用される投光器等も設置された。



▲展示風景



▲照明施設の概要を紹介

### 編集スタッフ

主査：勝山茂樹（関西電力）、幹事：織田光枝（松下電工）  
 委員：鹿谷美砂子（岩崎電気）、扇和典（小糸工業）、平野里香（東芝ライテック）  
 牧原千晴（三菱電機照明）、小野田行雄（ヤマギワ）  
 押田直子（照明普及会）

## 施設例紹介

## ●大館樹海ドーム

昨年8月にオープンした“大館樹海ドーム”。木造ドームとしては国内最大の出雲ドーム(島根県)を上回り、世界



最大の北ミシガン州立大学体育館(アメリカ)に匹敵する世界最大規模のものとなる。屋根架構には秋田杉の大断面集成材を約25,000本使用。アリーナは人工芝で野球をメインに、アメリカ

ンフットボール、テニス、サッカーなど様々なスポーツに対応できる他、コンサート、展示会など多目的に利用できる。

(資料提供: 岩崎電気)



◀光源: メタルハライドランプ・ハロゲンランプ(非常用照明)

▲外観

## ●倉敷チボリ公園

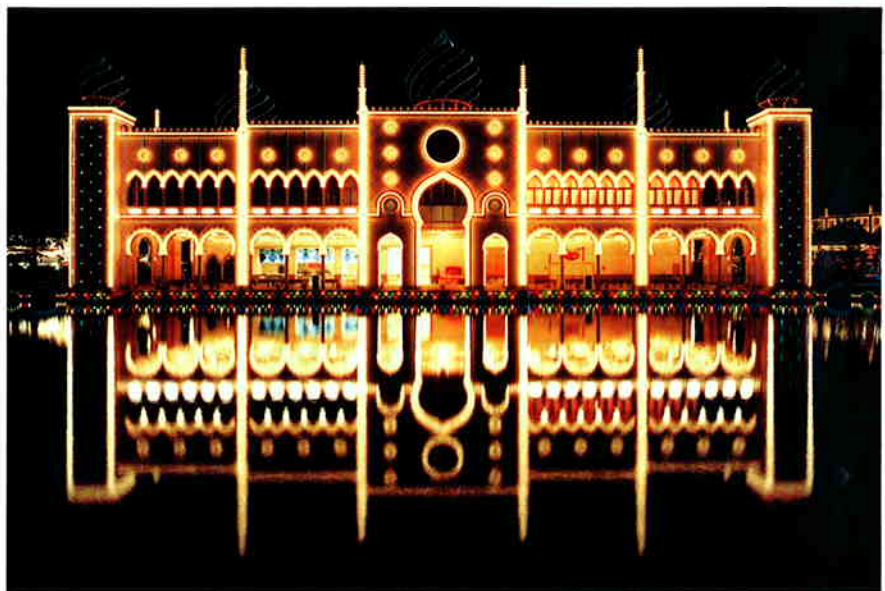
デンマーク・チボリ公園の持つ基本理念に沿って、イルミネーション照明を中心とした演出的照明計画をコンセプトに、岡山県倉敷市に完成した都市型テーマパーク。

光の構成要素は、ILを中心に一部メタルハライドランプを光源とした光ファイバーを用いている。

(資料提供: 倉敷チボリ公園、ヤマギワ)



◀メインエントランス



▲アンデルセンホール

## ●東京湾アクアライン

千葉県木更津市と川崎市を結ぶ有料道路、東京湾アクアライン(15.1km)が、12月18日に開通した。アクアラインは4.4kmの橋梁部と沖合に浮かぶ人工島「海ほたる」と「風の塔」、9.6kmの海底トンネルなどからなり、新しい東京湾名物となっている。



▲昼景



▲海ほたる

(資料提供: 松下電工)